

## 事務事業評価表

記入年月日				
平成16年度	事業コード	21130	電話	042-769-8241
担当部課名	環境保全部	環境保全	課	規制指導 班
事務事業名	低公害自動車普及促進事業			
予算上の事務事業名	低公害自動車普及促進事業			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第 1 章	人と自然にやさしい地域社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第 1 節	地球環境の保全に向けた取り組み	15 年度
施策名	第 3 施策	公害防止対策の推進	

## 2 実施根拠及び関連法令等

大気汚染防止法、地域新エネルギー導入・省エネルギー普及促進対策費補助金交付要綱
---

## 3 事務の区分

自治事務
------

## 4 経費の区分

その他の経費
--------

## 5 事務事業の分類

国庫補助 継足し単独事業
--------------

## 6 受益者負担

なし
----

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか 自動車排出ガスによる大気汚染を改善するため、低公害自動車の普及促進を図り、良好な大気環境を保持する。	(2)対象(誰、何) 低公害自動車購入者 低公害自動車保有者 エコステーション設置事業 対象数 620,551 単位 人
(3)平成15年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容 ・普及啓発用パンフレット作成 ・普及啓発用シール作成 ・「相模原市低公害自動車市営駐車場利用料金割引要綱」 認定対象(登録)台数30台(利用割引件数28件) ・「低公害自動車購入奨励金交付要綱」 奨励金の交付1台 ・「相模原市エコ・ステーション設置費助成金交付要綱」 助成金の交付1施設(天然ガスのエコスタンド)	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～ 年度

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

16,17年度は目標値

成果指標	指標名	指標式・指標の単位	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				13	14	15	16	17
	公用車両における低公害自動車導入率	低公害公用車両数÷全車両数×100	事業実施により国からの補助金を受けられるため、公用車両において低公害自動車導入の促進が図られているか	1	1	2	4	4
	市営駐車場利用料金割引制度実施率	駐車場割引利用台数÷認定対象台数×100	市営駐車場利用料金割引制度対象車両における実際の利用率を調べ、必要性を把握する			93	110	120

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	決算(予算)額	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
		決算	決算	決算(見込み)	予算	予算(見込み)
	人員・時間数			400時間	400時間	400時間
	人件費			1,600	1,600	1,600
	その他経費					
	合計	0	0	3,363	3,900	3,900
	特定財源				0	0
	対象数(人)			620,551	625,000	630,000
	単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	5.4	6.2	6.2

10 個別評価(担当課による一次評価)

(1)達成度 評価 A ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	公用車両においては低公害自動車の導入が図られているが、一般車両については、まだまだ普及していない。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 環境対策として、低公害車の果たす役割や必要性は認識されている。
(3)有効性 評価 B ▼	A:有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		
		説明	低公害車自体に技術的な(馬力、航続距離等)課題がある。
(4)効率性 評価 B ▼	A:優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 低公害車購入時においては、個々に様々な事情があるため、啓発や金額面の補助が直接購入促進に繋がらない場合がある。
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	対象者に対し公平である。
(6)成果の向上及び費用対効果を高めるための方策		(7)今後の課題となっていること	
金額、対象車種等を検討し、普及促進を進めていく。		<input type="checkbox"/> 充填施設が少ない <input type="checkbox"/> 車両価格が高い <input type="checkbox"/> 低公害車自身に実用性に劣っている面がある	

11 総合評価(担当課による一次評価)

評価 A ▼	他自治体の類似事業との比較	
	・「市営駐車場利用料金割引」:小田原市が同様な事業を行っているが、割引サービスの内容が本市より勝っており、その分コストは余分にかかるが、事業効果は上がっている。 ・「購入奨励金交付」:県・政令市を含む6自治体で同様な事業が行われている。総事業費は100万円~200万円であり、本市と同程度の規模である。だが、補助対象者や車種の要件等が異なり単純な比較は困難である。 ・「エコステーション設置費助成金交付」:県が同様な事業を行っているが、1件当たりの補助金は本市の10倍(約1000万円)となっている。	
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	低公害車及びその周辺を取り巻く環境には様々な課題があり、現実面で普及促進の難しさがある。しかし、本市にとって当該事業は今後の大気汚染の改善や地球温暖化防止策にとって重要な施策となっており推進を図っていく必要がある。現在のところ、事業の成果という観点では十分とはいえないため、制度に関する市民、事業者への一層の周知啓発、徹底に努めていきたい。 なお、「低公害自動車普及促進事業」は施策策定の段階で平成15年度~平成17年度の時期事業として財政負担の明確化を図っている。
<input type="checkbox"/>	完了・廃止	
<input type="checkbox"/>	完了(廃止)済	

12 二次評価コメント(行政評価会議による二次評価)

--